日本アンテナ　**取扱説明書**

3224MHz対応小型直列ユニット

4K 8K 3224MHz対応

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

SH JEITA

SHマーク（スーパーハイビジョン受信マーク）は、BS・110度CS右左旋放送受信帯域に対応した機器のうち、一般社団法人　電子情報技術産業協会で審査・登録され、一定以上の性能を有するスーパーハイビジョン衛星放送受信に適した衛星アンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

高シールド

このマークは放送法「不要放射34dBμV/m以下」に準拠・設計された「Wi-Fiや携帯電話など、電波の影響を受けにくい・与えにくい製品」に表記される当社独自のマークです。

■特　長

1. 入力・出力端子を180˚可動できますので、ケーブルの接続を容易に取付けできます。
2. 10～3224MHz（HF帯からCS-IF帯）まで使用できる高性能ユニットです。
3. 市販の取付枠に取付可能です。
4. ケースは亜鉛ダイカスト製、ふたはプレス固定式で、電波の漏洩や飛込み対策に効果があります。

ポイント

●テレビ端子台は、市販取付枠へ取付け後でも着脱可能です。

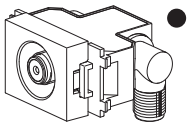
●ボックスはJIS C 8340に準じますが、奥行が40mm未満の場合には取付、配線できないことがあります。本器、ボックス、ケーブルの寸法、設置方法などをあらかじめ考慮したうえでご使用ください。

●TV端子の接続には、必ずF型接栓を使用して確実に締付けしてください。

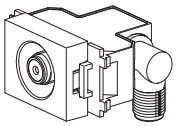
●空端子がある場合は、ダミー抵抗をお求めのうえ必ず接続してください。

●4K・8K放送に対応したシステムにする場合、使用機器・同軸ケーブルなどはすべて3224MHzまでの周波数帯域で性能が保証されているものをご使用ください。

1端子型



●MKE7-7
（中間用）

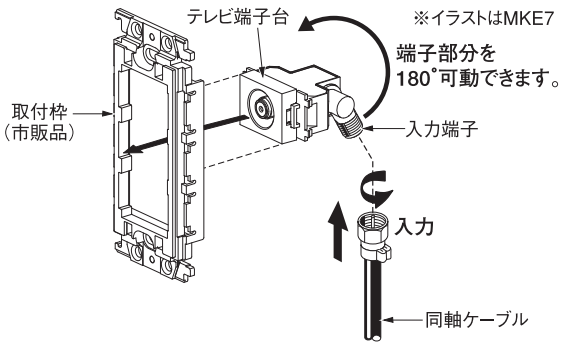


●MKE7
（壁面端子）
電流阻止型

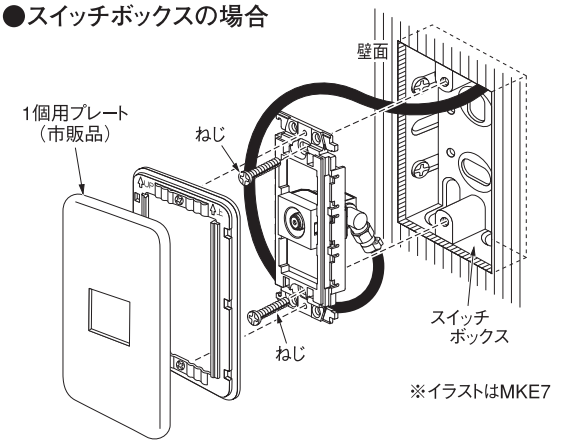
●MKE7P
（壁面端子）
電流通過型

■取付方法

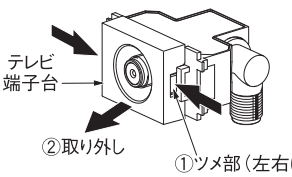
●ケーブルの取付・取付枠への取付



●スイッチボックスの場合



■テレビ端子台の取外し方法



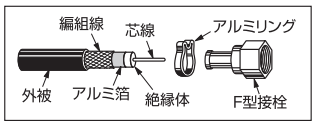
①テレビ端子台の両方のツメ部を指でつまみます。
②手前に引いて外します。

※イラストはMKE7

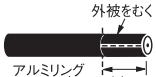
●同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法（別売品）

◆用意するもの カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

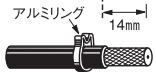
■各部の名称



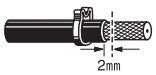
❶ カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1㎜程度）



❷ 外被をむき、アルミリングを通しておきます。

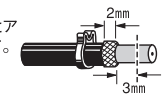


❸ 外被から2㎜程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。

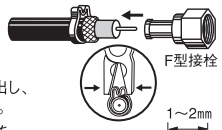


❹ 編組線をめくりあげます。

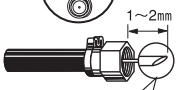
❺ 編組線から3㎜はなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。



❻ F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



❼ 芯線の先端は1～2㎜出し、斜めにカットしてください。
芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。



芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

ポイント

- ●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- ●芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
- ●芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。（※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。）

⚠注意 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬけがの原因となります。

●F型接栓締付トルク　約2.0N・m（約20kgf・cm）

■標準性能表

型　名	周波数帯域（MHz）	挿入損失（dB以下）	結合損失（dB以下）	逆結合損失（dB以上）	電圧定在波比（以下）	インピーダンス（Ω）	使用温度範囲（℃）	寸法（mm）高さ×幅×奥行	質量（g）
MKE7-7（中間用）※1 SH JEITA	10～76	1.5	11.0	23	1.8	75（F型）	−10～+40	28.4×43.6×36	45
	76～222	1.5	11.0	25	1.8				
	222～770	1.8	11.8	20	1.8				
	770～1489	2.0	12.0	18	2.0				
	1489～2150	3.0	13.5	15	2.5				
	2150～2681	3.5	14.5	15	2.5				
	2681～3224	4.5	15.5	15	2.5				
MKE7（壁面端子）電流阻止型 SH JEITA	10～76	0.3	——	——	1.5				40
	76～222	0.3	——	——	1.5				
	222～770	0.4	——	——	1.5				
	770～1489	0.4	——	——	1.5				
	1489～2150	0.6	——	——	1.8				
	2150～2681	0.8	——	——	1.8				
	2681～3224	1.0	——	——	1.8				
MKE7P（壁面端子）電流通過型 ※2 SH JEITA	10～76	0.3	——	——	1.5				40
	76～222	0.3	——	——	1.5				
	222～770	0.4	——	——	1.5				
	770～1489	0.4	——	——	1.5				
	1489～2150	0.6	——	——	1.8				
	2150～2681	0.8	——	——	1.8				
	2681～3224	1.0	——	——	1.8				

※1　入力端子と出力端子間　電流通過　最大DC15V・0.8A／AC30V・1A
※2　入力端子とTV端子間　電流通過　最大DC15V・0.8A／AC30V・1A

お客様窓口　**0570-091039**　ナビダイヤルが利用できない場合は　☎(03)3893-5243
ご利用時間　9:00～12:00 13:00～17:30（土・日・祝祭日・弊社休業日を除く）

日本アンテナ株式会社
本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221（大代）
ホームページアドレス　http://www.nippon-antenna.co.jp/

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

MKE（A01）　7110678　平成28年10月